

## 平成26年度 基礎物理学専攻修士論文発表会プログラム

2015年2月13日(金)・2月16日(月)

※発表会出席者は、発表内容について守秘義務があります。

実験系 2月13日(金) 本館2階284物理輪講室			
時間	発表者	指導教員	論文題目
10:00-10:30	吉田 裕	實吉敬二	物体境界の明確なステレオ画像の生成
10:30-11:00	留目 和輝	陣内 修	LHC アトラス実験アップグレードに向けた新型シリコンストリップ検出器用読み出しシステムの開発
11:00-11:30	岡島 裕治	久世正弘	ハイパーカミオカンデにむけた新型光センサ及び検出器シミュレーションの開発
11:30-12:00	加藤 準平	宗宮健太郎	重力波望遠鏡における光ばねと非線形結晶を用いた信号増幅器のデザインとその検証
昼休み 1時間30分			
13:30-14:00	眞田 壘	柴田利明	SeaQuest 実験におけるミューオントラックを用いたドリフト・チェンバーの性能評価
14:00-14:30	鈴木 貴大	旭耕一郎	断熱磁場回転システムにおける擬似偏極の低減と性能評価
14:30-15:00	坂本 雄	旭耕一郎	一様静磁場環境の構築による $^{129}\text{Xe}$ 原子のEDM 探索
実験系 2月16日(月) 本館2階284物理輪講室			
時間	発表者	審査員	論文題目
10:00-10:30	小倉 潤	垣本史雄	TA実験:ハイブリッドトリガーデータを用いた一次宇宙線質量組成測定結果
10:30-11:00	糸田 綾香	宗宮健太郎	重力波検出器KAGRA の感度向上に向けたアウトプットモードクリーナーの開発
11:00-11:30	小山 舜平	松原英雄	「あかり」遠赤外線測光観測による赤方偏移0.2 付近の(U)LIRG8活動性の調査
11:30-12:00	吉井 健敏	河合誠之	ブラックホール連星 MAXI J1910-057 の長期多波長観測から明らかになった物理
昼休み 1時間30分			
13:30-14:00	Sharankova, Ralitsa	久世正弘	A multivariate analysis for reactor neutrino signal selection with neutron captures on Hydrogen
14:00-14:30	山口 大貴	陣内 修	HL-LHC アトラス検出器アップグレードに向けた新構造プラナーピクセル検出器の性能評価
14:30-15:00	加賀美 光二	實吉敬二	ステレオカメラを用いたビジュアルオドメトリのハードウェア化
理論系 2月16日(月) 本館1階156物理輪講室			
時間	発表者	審査員	論文題目
10:00-10:30	田中佳介	伊藤克司	$N=1$ 超重力理論を用いたカオティックインフレーションモデルの構成
10:30-11:00	難波拓馬	今村洋介	ADE 型のSeiberg 双対性
昼休み 2時間			
13:00-13:30	西征爾郎	岡 眞	Y型3体閉じ込めポテンシャルでの $\Omega$ bcc 粒子のエネルギースペクトルの研究
13:30-14:00	加藤洋崇	今村洋介	ABJM模型を用いた交差するM2 プレーン系の解析
14:00-14:30	佐藤正憲	山口昌英	インフレーションによる高エネルギー物理学の探索
14:30-15:00	彦田絵里	岡 眞	虚時間法を用いた $\Lambda$ からH ダイバリオンへの光放出反応率の計算
15:00-15:30	吹野幸子	武藤一雄	クォーククラスター模型によるヘビーバリオンと核子の短距離相互作用

\*各自の時間は 20分(発表)+10分(質疑)= 30分 です。